

キヤノンマーケティングジャパングループ 2019年度第1四半期 決算説明

2019年4月24日

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

取締役専務執行役員 松阪 喜幸

Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

■本資料では、億円単位未満の端数は四捨五入により表示しております。

■本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

売上高 **1,509億円** **(前年比+1億円 / +0%)**

✓コンスーマ・プロフェッショナルの各セグメントで減収となったものの、エンタープライズ・エリアの各セグメントが増収となり、売上は前年並み。

営業利益 **70億円** **(前年比+33億円 / +89%)**

✓コンスーマ・エンタープライズ・エリアの各セグメントで増益となり、増益。

**親会社株主に帰属する
四半期純利益** **48億円** **(前年比+23億円 / +89%)**

業績サマリー 第1四半期(1~3月)実績

■ 業績サマリー

(単位：億円)

	2018年 1Q	2019年 1Q	前年同期比較	
			金額	率
売上高	1,508	1,509	+1	+0%
売上総利益	(34.5%) 520	(32.3%) 487	(△2.2%) △33	△6%
営業利益	(2.5%) 37	(4.6%) 70	(+2.2%) +33	+89%
経常利益	(2.7%) 41	(4.8%) 73	(+2.1%) +32	+77%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(1.7%) 25	(3.2%) 48	(+1.5%) +23	+89%

■ 営業利益分析



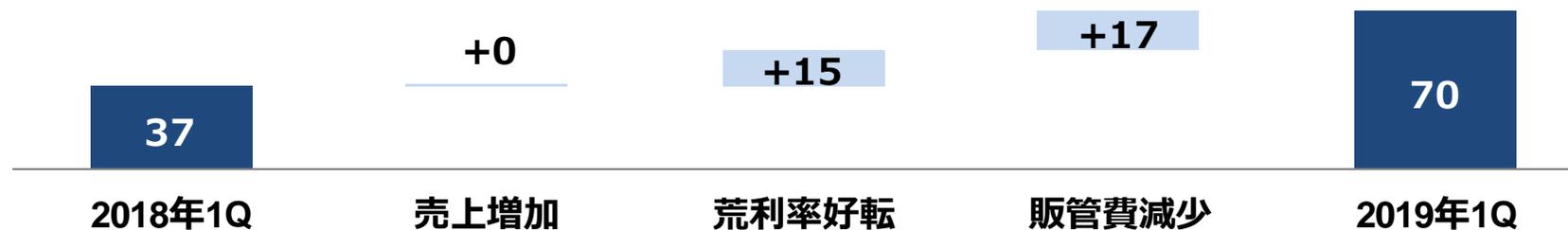
業績サマリー 第1四半期(1~3月)実績 組替前実績比較

■ 業績サマリー

	2018年 1Q	2019年 1Q	サービス 組替影響	2019年 1Q (組替前)	組替前比較	
					金額	率
売上高	1,508	1,509	-	1,509	+1	+0%
売上総利益	(34.5%) 520	(32.3%) 487	49	(35.5%) 536	(+1.0%) +16	+3%
営業利益	(2.5%) 37	(4.6%) 70	-	(4.6%) 70	(+2.2%) +33	+89%
経常利益	(2.7%) 41	(4.8%) 73	-	(4.8%) 73	(+2.1%) +32	+77%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(1.7%) 25	(3.2%) 48	-	(3.2%) 48	(+1.5%) +23	+89%

(単位：億円)

■ 営業利益分析



セグメント概要 第1四半期(1~3月)実績

(単位：億円)

	2018年 1Q		2019年 1Q		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
コンシューマ	268	△21	259	△13	△9	+9
エンタープライズ	472	22	499	35	+27	+13
エリア	668	27	676	38	+8	+11
プロフェッショナル	150	8	122	8	△29	△0
その他	△50	2	△46	2	+4	+0
合 計	1,508	37	1,509	70	+1	+33

※1. 「その他」には、セグメント間内部売上高やシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。

※2. 2019年より、「プロフェッショナル」セグメントのサブセグメントであった「映像ソリューション」を「エンタープライズ」と「エリア」セグメントに移管しました。

また、グループ内に分散していたセキュリティビジネスの企画・開発機能をキヤノンMJ単体のマーケティング統括部門に集約した結果、セグメント間取引の金額が変更となっております。なお、前期のセグメントは当期の区分方法に組替えを行っております。

売上高 259億円（前年比 $\Delta 9$ 億円 / $\Delta 3\%$ ）

▶ ミラーレスカメラ等の売上が伸長したものの、デジタル一眼レフカメラの販売減等により、セグメント全体は減収。

営業利益 $\Delta 13$ 億円（前年比 $+9$ 億円 / $-$ ）

▶ 高単価製品の売上増や、販管費の削減により改善。

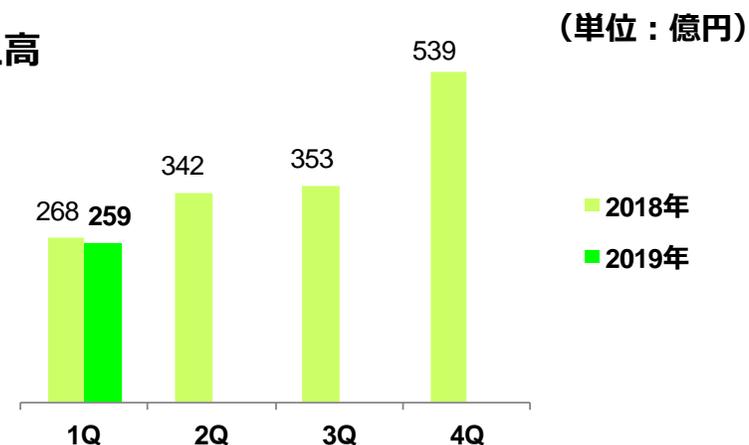
■ 対前年増減

	2018年 1Q	2019年 1Q	増減
売上高	268	259	$\Delta 9$
営業利益	$\Delta 21$	$\Delta 13$	$+9$

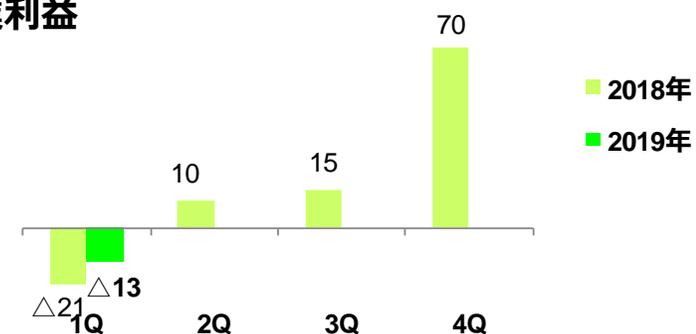
■ 売上高 対前年同期増減

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2019年	$\Delta 3\%$				

■ 売上高



■ 営業利益



売上高 499億円（前年比 +27億円 / +6%）

▶製造業、流通業向けの業種別ソリューションや、データセンターサービス、組み込みシステム案件等が順調に推移し、増収。

営業利益 35億円（前年比 +13億円 / +59%）

▶キヤノンITソリューションズの収益性向上により、増益。

（単位：億円）

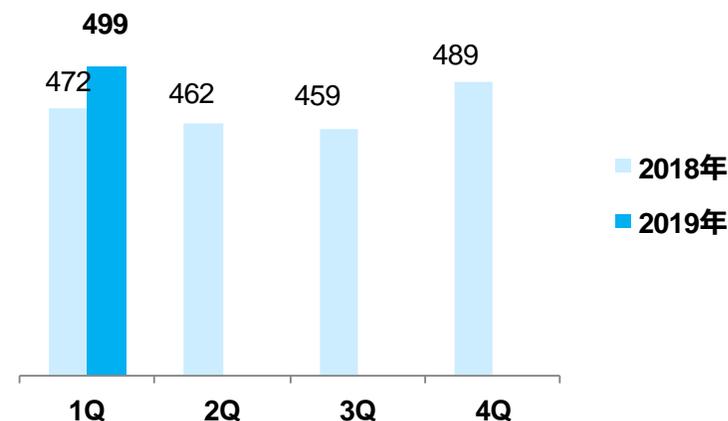
■ 対前年増減

	2018年 1Q	2019年 1Q	増減
売上高	472	499	+27
営業利益	22	35	+13

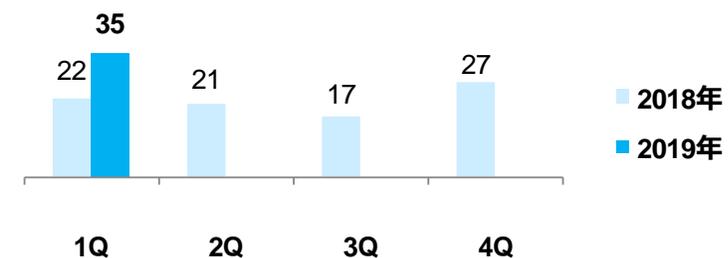
■ 売上高 対前年同期増減

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2019年	+6%				

■ 売上高



■ 営業利益



売上高 676億円（前年比 +8億円／+1%）

▶ 主要なビジネス機器が低調に推移したものの、中堅・中小企業向けのITソリューションが増加し、増収。

営業利益 38億円（前年比 +11億円／+41%）

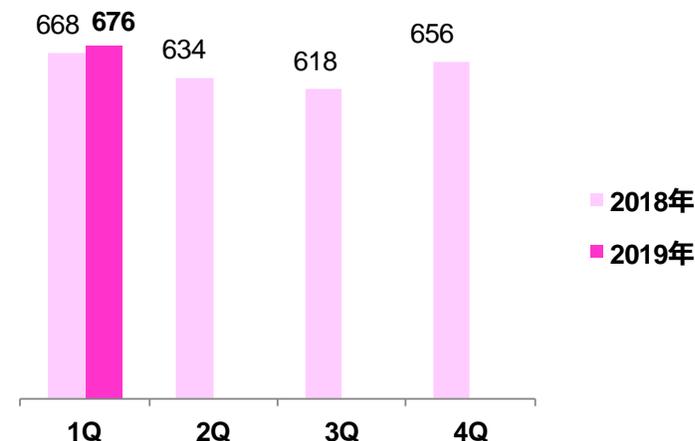
▶ ITソリューション関連の売上増加に伴う荒利の増加や、販管費の削減等により、増益。

（単位：億円）

■ 対前年増減

	2018年 1Q	2019年 1Q	増減
売上高	668	676	+8
営業利益	27	38	+11

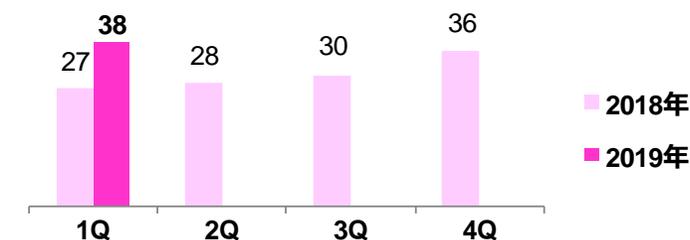
■ 売上高



■ 売上高 対前年同期増減

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2019年	+1%				

■ 営業利益



売上高 122億円（前年比 Δ 29億円 / Δ 19%）

▶ 産業機器やヘルスケアで、前年同期に大型案件の反動があったこと等により、減収。

営業利益 8億円（前年比 Δ 0億円 / Δ 0%）

▶ 減収となったものの、荒利率の改善や販管費の削減等により、横ばい。

（単位：億円）

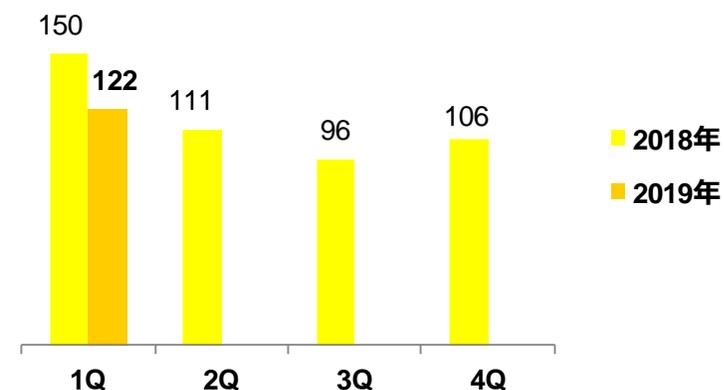
■ 対前年増減

	2018年 1Q	2019年 1Q	増減
売上高	150	122	Δ 29
営業利益	8	8	Δ 0

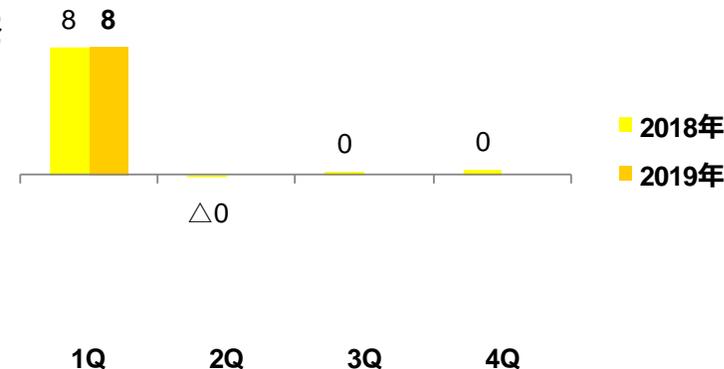
■ 売上高 対前年同期増減

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2019年	Δ 19%				

■ 売上高



■ 営業利益



■ 売上高対前年増減

	2019年
	1Q 実績
プロダクションプリンティング	+1%
産業機器	△34%
ヘルスケア	△13%

■ プロダクションプリンティング

カラー連帳プリンター関連のビジネス等が伸びたことにより、増収。

■ 産業機器

半導体分野における前年同期の反動や、非半導体分野で海外取引先との販売代理店契約が終了したこと等により、減収。

■ ヘルスケア

デジタルラジオグラフィの減少や、前年の医療情報システム大型案件の反動により、減収。

グループITソリューション売上

(単位：億円)

	2018年 1Q	2019年 1Q	増減	
			金額	率
エンタープライズ	293	318	+25	+8%
エリア	151	179	+27	+18%
その他	56	56	△0	△1%
合計	501	552	+52	+10%

【参考】グループITセキュリティ売上高

	対前年 増減率
	1Q
グループITセキュリティ	+1%

業績予想サマリー

■ 前回予想より変更ございません

(単位：億円)

	2019年 年間 (予想)	2018年 年間 (実績)	前年比較	
			金額	率
売上高	6,220	6,216	+4	+0%
営業利益	(4.7%) 295	(4.7%) 289	(+0.1%) +6	+2%
経常利益	(4.9%) 307	(4.9%) 305	(+0.0%) +2	+1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	(3.4%) 209	(3.4%) 208	(+0.0%) +1	+0%

業績予想 セグメント概要 前年比較

■ 前回予想より変更ございません

(単位：億円)

	2018年 年間 (実績)		2019年 年間 (予想)		前年比較		
	売上	営業 利益	売上	営業 利益	売上 金額	率	営業 利益
コンシューマ	1,502	73	1,388	69	△114	△8%	△4
エンタープライズ	1,882	87	1,900	97	+18	+1%	+10
エリア	2,576	121	2,629	121	+53	+2%	+0
プロフェッショナル	464	9	487	11	+23	+5%	+2
その他	△208	△1	△184	△3	+24	-%	△2
合計	6,216	289	6,220	295	+4	+0%	+6

※1. 「その他」には、セグメント間内部売上高やシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。

※2. 2019年より、「プロフェッショナル」セグメントのサブセグメントであった「映像ソリューション」を「エンタープライズ」と「エリア」セグメントに移管しました。

また、グループ内に分散していたセキュリティビジネスの企画・開発機能をキヤノンMJ単体のマーケティング統括部門に集約した結果、セグメント間取引の金額が変更となっております。なお、前期のセグメントは当期の区分方法に組替えを行っております。

■ 前回予想より変更ございません

コンシューマ

- 売上は、ミラーレスカメラの更なる拡販に努めるものの、デジタル一眼レフカメラやインクジェットプリンター等の減少により、対前年マイナス8%の1,388億円を見込む。
- 営業利益は、高付加価値製品への注力、販管費の削減等を目指すものの、対前年4億円減の69億円を見込む。

エンタープライズ

- 売上は、主要なハードウェア等で減少となるものの、金融業や製造業向けソリューションや、SI・データセンターサービス・セキュリティ等のビジネスが引き続き増加するなどし、対前年プラス1%の1,900億円を見込む。
- 営業利益は、高付加価値ソリューションの提供や、ITソリューションビジネスにおけるストック比率を高めること等により荒利が増加し、対前年10億円増の97億円を見込みます。

■ 前回予想より変更ございません

エリア

- 売上は、オフィスMFPの新製品の発売による販売増や、ITソリューションの売上の拡大等により、対前年プラス2%の2,629億円を見込む。
- 営業利益は、IT保守等の収益性の高いビジネスが増加するものの、前年と比べ稼働日が減少することにもない、消耗品ビジネスに影響が出る見込み。また、MFPの出荷の増加にともなう費用の増加などもあり、営業利益は対前年並みの121億円を見込む。

プロフェッショナル

- プロダクションプリンティング：カラーインクジェット連帳プリンター等の拡販に注力し、増収を見込む。
- 産業機器：半導体関連で顧客の生産調整に伴う設備投資延期等があるものの、微増収を見込む。
- ヘルスケア：新製品の拡販や大型案件獲得に注力し、増収を見込む。

參考資料

【参考】2018年セグメント移管組替後実績

	2018年							
	1Q		2Q		3Q		4Q	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
コンシューマ	268	△21	342	10	353	15	539	70
エンタープライズ	472	22	462	21	459	17	489	27
エリア	668	27	634	28	618	30	656	36
プロフェッショナル	150	8	111	△0	96	0	106	0
その他	△50	2	△53	0	△52	0	△53	△2
合 計	1,508	37	1,497	59	1,474	62	1,737	130

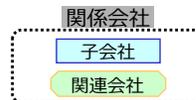
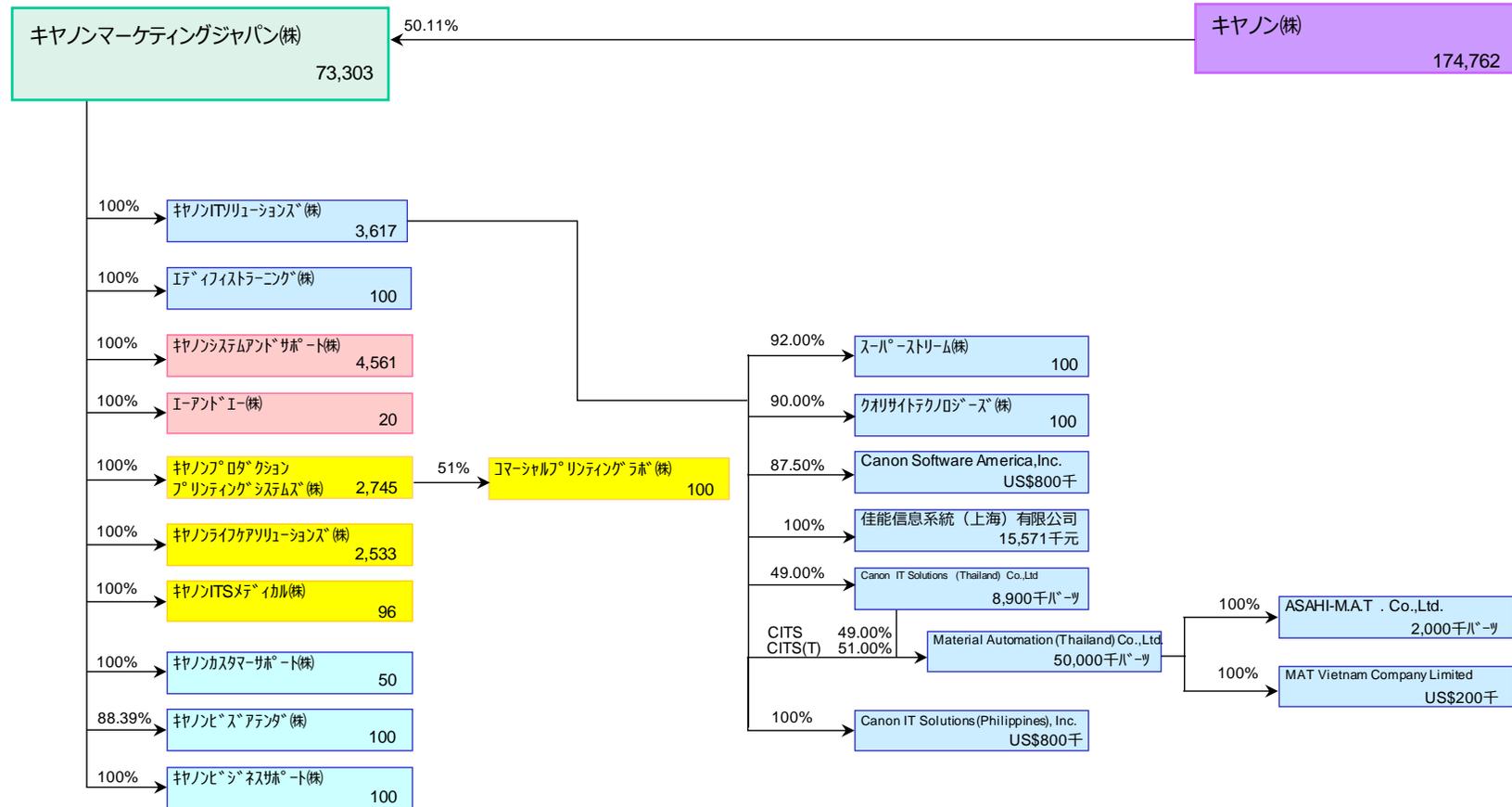
(単位：億円)

※1. 「その他」には、セグメント間内部売上高やシェアードサービス事業、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。

※2. 2019年より、「プロフェッショナル」セグメントのサブセグメントであった「映像ソリューション」を「エンタープライズ」と「エリア」セグメントに移管しました。

また、グループ内に分散していたセキュリティビジネスの企画・開発機能をキヤノンMJ単体のマーケティング統括部門に集約した結果、セグメント間取引の金額が変更となっております。なお、前期のセグメントは当期の区分方法に組替えを行っております。

【参考】関係会社出資関係図



2019. 3.31 現在

【参考】主要関係会社実績 第1四半期(1~3月)実績

(単位：億円)

		2018年 1Q	2019年 1Q	増減	
				金額	率
エンタープライズ					
キヤノンITソリューションズ	売上高	211.4	237.2	+25.8	+12%
	営業利益	17.1 (8.1%)	31.5 (13.3%)	+14.4 (+5.2%)	
エリア					
キヤノンシステムアンドサポート	売上高	306.6	313.2	+6.6	+2%
	営業利益	7.9 (2.6%)	12.5 (4.0%)	+4.6 (+1.4%)	
プロフェッショナル					
キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ	売上高	28.5	29.0	+0.4	+2%
	営業利益	△2.2 (-)	0.5 (1.9%)	+2.7 (-)	
キヤノンライフケアソリューションズ	売上高	34.1	31.1	△3.0	△9%
	営業利益	1.5 (4.3%)	1.1 (3.6%)	△0.3 (△0.7%)	

※ 主要関係会社の前年実績につきましては、セグメント区分の変更に伴い、各社の前年実績も組替え後の数値となっております。

【参考】販管費の内訳

(単位：億円)

	2018年 1Q	2019年 1Q	サービス 組替影響	2019年 1Q (組替前)	組替前増減 1Q
広告宣伝費	19	17	-	17	△2
販売促進費	11	9	-	9	△2
保証費	13	10	1	11	△2
その他直接費	48	45	-	45	△2
人件費	315	265	46	311	△4
減価償却費	3	2	-	2	△1
その他販売費	73	68	2	70	△4
合計	483	417	49	465	△17

【参考】営業外収支・特別損益の内訳

(単位：億円)

■ 営業外収益

	2018年	2019年	増減
	1Q	1Q	1Q
受取利息	0	0	+0
受取配当金	0	0	△0
投資事業組合運用益	2	1	△1
その他	2	1	△1
合計	5	3	△2

■ 営業外費用

	2018年	2019年	増減
	1Q	1Q	1Q
支払利息	0	0	+0
その他	1	1	△0
合計	1	1	△0

【参考】営業外収支・特別損益の内訳

(単位：億円)

■ 特別利益

	2018年	2019年	増減
	1Q	1Q	1Q
固定資産売却益	1	0	△1
合計	1	0	△1

■ 特別損失

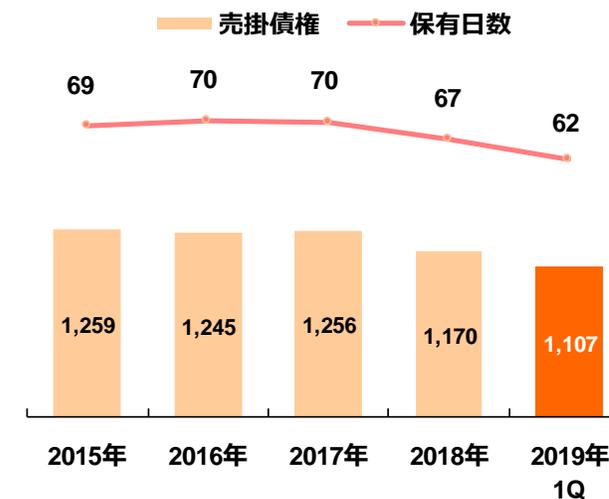
	2018年	2019年	増減
	1Q	1Q	1Q
固定資産除売却損	1	0	△0
減損損失	0	-	△0
投資有価証券評価損	1	0	△1
拠点再編費用	0	-	△0
その他	0	0	△0
合計	2	0	△2

【参考】貸借対照表

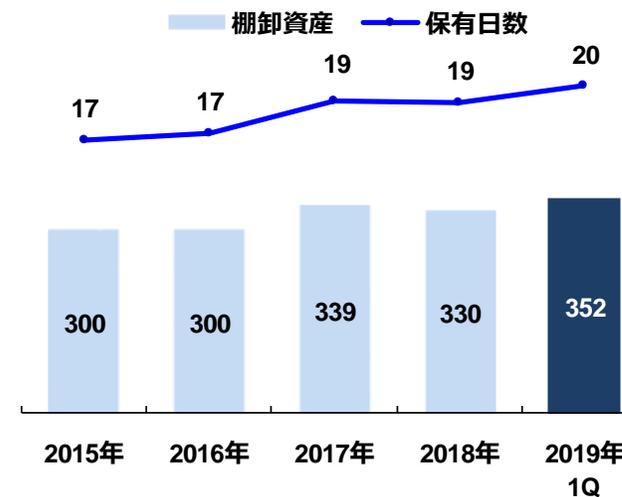
	2018年 12月	2019年 3月	増減
資産	4,988	4,930	△58
流動資産	3,872	3,785	△87
金融資産	1,356	756	△600
売掛債権	1,170	1,107	△64
棚卸資産	330	352	21
その他	1,016	1,571	555
固定資産	1,115	1,145	29
有形固定資産	720	709	△11
無形固定資産	53	52	△1
投資その他	343	384	41
負債	1,952	1,881	△71
流動負債	1,299	1,240	△59
買掛債務	758	695	△63
その他	541	545	5
固定負債	653	641	△13
純資産	3,036	3,048	13
株主資本	3,142	3,134	△8
(自己株式)	△319	△319	△0
その他の包括利益累計額	△111	△91	20
非支配株主持分	5	6	0
株主資本比率	61%	62%	+1%

(単位：億円)

■ 売掛債権

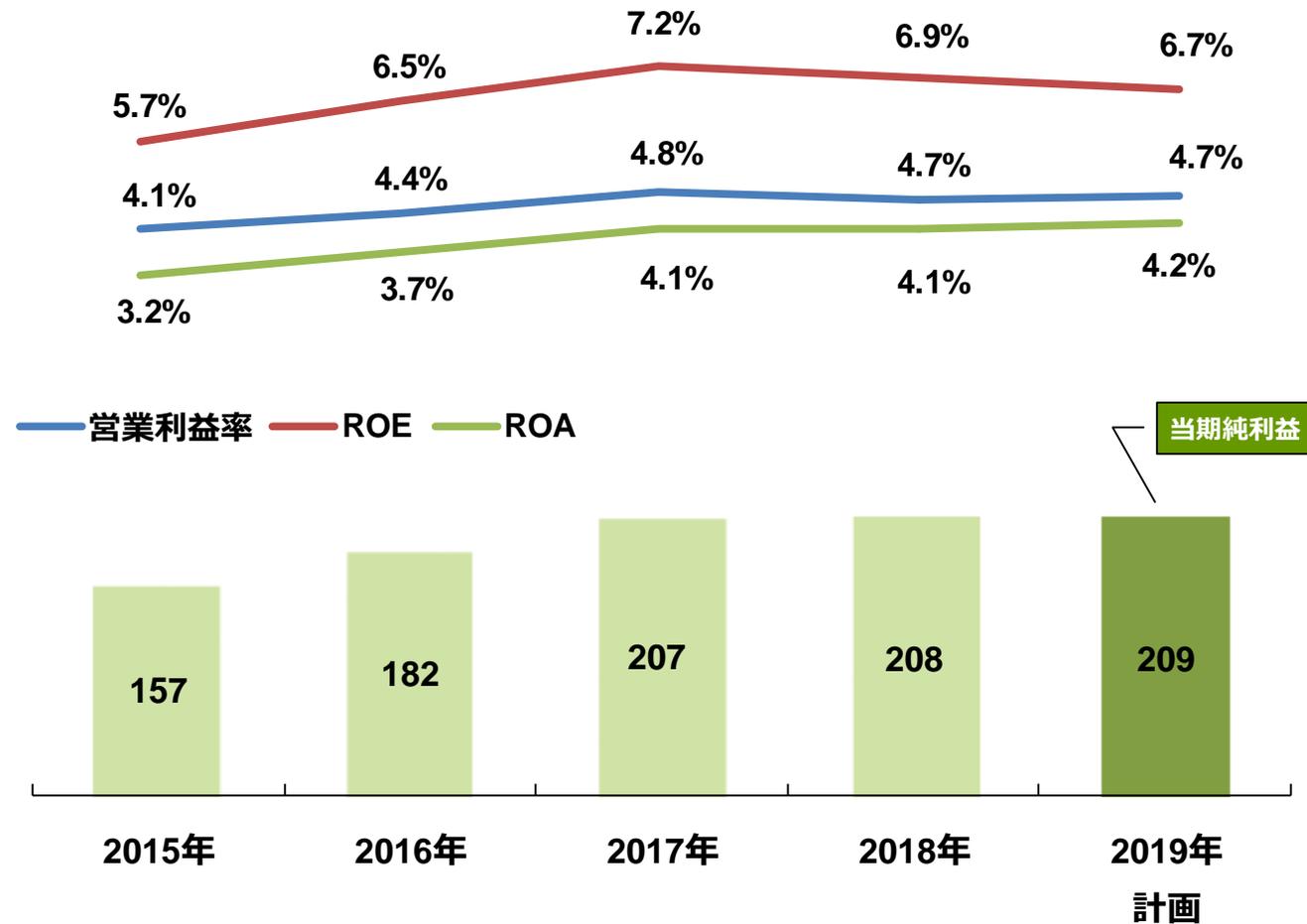


■ 棚卸資産



(単位：億円)

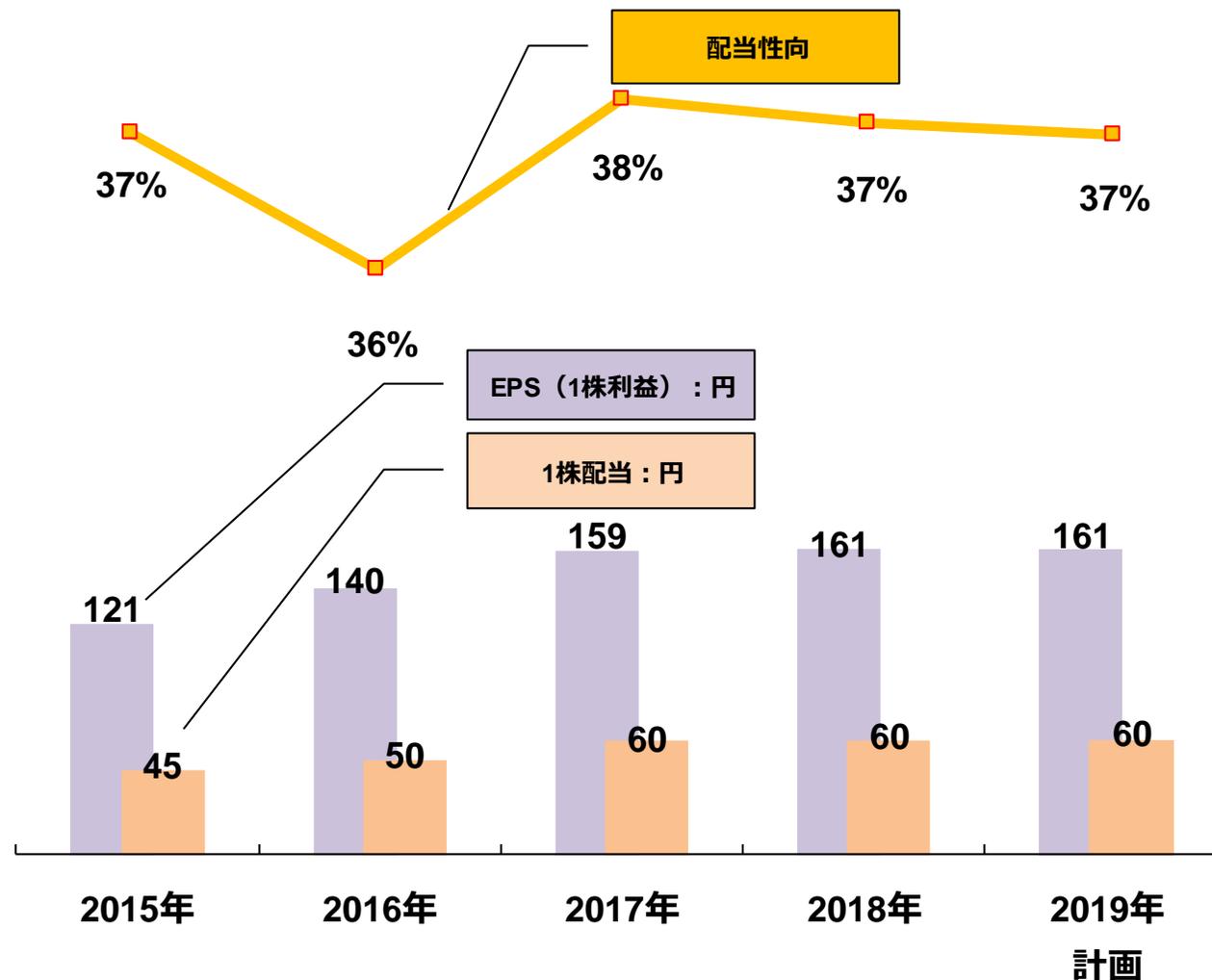
■ 財務指標推移



【参考】財務指標推移 配当性向／EPS／配当

(単位：円)

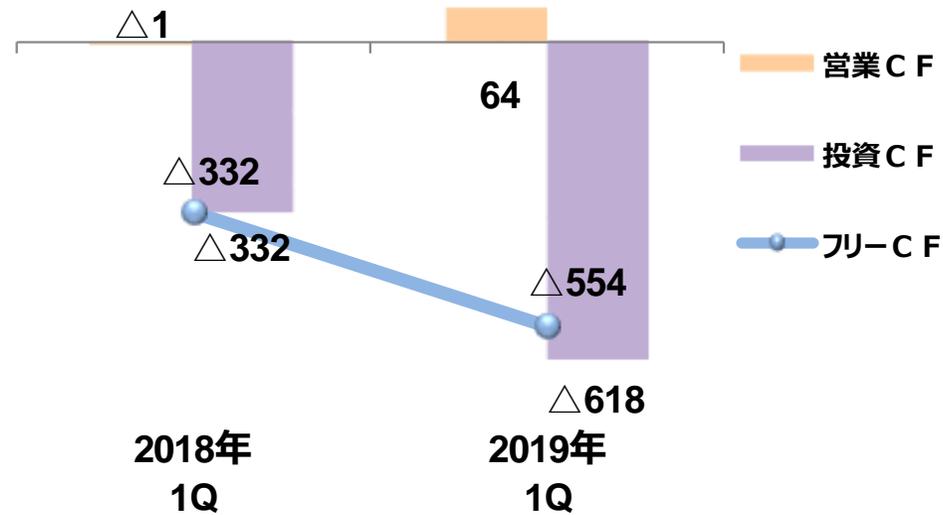
■ 財務指標推移



【参考】キャッシュ・フロー/設備投資・減価償却

(単位：億円)

■キャッシュ・フロー



■設備投資

	1Q 実績	2Q-4Q 計画	年間
2018年	26	82	107
2019年	19	227	246

■減価償却

	1Q 実績	2Q-4Q 計画	年間
2018年	33	100	133
2019年	30	98	128

Canon

キヤノンマーケティングジャパングループ